

事業報告令和2年度 教育事業 タイニーキャンプ

令和3年2月27日（土）・28日（日）
【対象】小学校1・2年生
【場所】国立信州高遠青少年自然の家

1. 趣旨

自然の中での共同生活を通して豊かな感性、自主性、協調性を育む機会とする。

2. 事業の概要

(1)期日 令和3年2月27日（土）・28日（日） 日帰り

(2)参加者 65人 【内訳 27日(土) 34名、28日 31名】

(3)日程

10:00	受付（ロビー）
10:15	開会式
10:30	【活動①】 森の中で遊ぼう ～森の散策、森のビンゴ、枝探しなど～
12:20	昼食
13:00	【活動②】 森の素材を使って、作って遊ぼう ～木の枝を使ったピストルづくり～
14:00	【活動③】 作って食べよう ～白玉ぜんざい作り～
15:15	閉会式（15:30 解散）

3. 企画運営のポイント

- ・仲間と一緒に自然を味わい、気づきを共有しながら、主体的に活動できる時間的なゆとりを持ったプログラムとする。
 - ・自然の家で体験した活動を、家に帰ってやってみることができ「やってみたい！」と思えるものを取り入れる。
 - ・ボランティアが考えた自然体験活動を班ごとに実践できる場を設け、ボランティアの研修及び資質の向上を図る。
- 班別活動では活動内容、活動場所について全体で共有し、内容の検討及びリスクマネジメントを丁寧に行う。

4. 参加者の声（保護者アンケート）と活動の様子

- ・とにかく楽しかったようです。「次回は何かがあるのか、また来れるのか」帰りの車の中で話していました。ゴム鉄砲もこわれちゃうまで遊びまくっていました。ありがとうございました。
- ・普段、近くに住んでいても山の中、自然の中で遊ぶことはあまりなかったので、新たな発見がたくさんあったようです。いろいろな遊びができて楽しかったと言っていました。森のビンゴが特に楽しかったようです。
- ・森の中を走り回ったり、川の中に入ってみたり森のビンゴをしたのがとても楽しかったようです。庭でもやりたいと言っていました。
- ・知らない人と接することが苦手な子が「友達ができ楽しかった。毎回参加したい」と嬉しそうに話していました。
- ・それぞれの子どもに寄り添って接していただき、普段は初対面の人や初めての場所には絶対に心を開かないのに、とても楽しそうにして帰ってきたので思い切って参加させてみて本当に良かったと思います。外で木を拾ったりするのが一番楽しかったみたいです。工作の時間が足りなかったので、今度はもっと工作がやりたいと言っていました。
- ・木のピストルの作りを教えてもらい、家で弟に作ってあげていました。おやつ白玉づくりも粉を練るのが楽しかったそうです。子どもが自分で作れる楽しさを学べる良い経験となりました。
- ・自然のものを使って遊べたり作れたりすることが楽しかったと話していました。活動で作ったパチンコをととても大切にしています。自分でやれたという自信がついたようです。

- ・おやつ白玉を家でも作りたいといって親子で一緒に作りました。とても楽しかった様子でした。
- ・一緒に行動してくれたお兄さん、お姉さんのことが大好きになったようで「一緒に〇〇をした、〇〇と言ってくれた」と嬉しそうに話してくれました。あんこを見ると「あの時作った白玉と一緒に食べたおしるこ一緒！」と事あるごとに思い出しているようです。本人にとって貴重な時間となったようです。
- ・終わった途端、「来週もまた来る!!」と言うほど楽しかったようです。制約の多い中で様々な工夫してくださったようでありがとうございます。
- ・とても楽しかったと帰ってきました。スタッフも親切で何より親元を離れ、子どもだけで過ごすことができとても素敵な体験になりました。このご時世で制約がある中で楽しませて頂きありがとうございます。次回があれば参加したいです。宿泊も含め。

【活動①】 森の中で遊ぼう ～森の散策、森のビンゴ、枝探しなど～



【活動②】 森の素材を使って、作って遊ぼう ～木の枝を使ったピストルづくり～

【活動③】 作って食べよう ～白玉ぜんざい作り～



5. 成果と課題

(1)保護者アンケート結果 事後アンケート回収 51名

全体を通して 満足: 50名(98%)、普通1名(2%)、不満0名(0%)

(2)成果と課題

○時間にゆとりを持った日程とし班ごとにボランティアが考えた活動を取り入れることで、参加者の状態に寄り添う活動を行うことができ満足度の向上につながった。

○ボランティアの事前研修の時間を確保し打ち合わせ綿密に行うことで、互いに学びあうことができ、活動への意欲と資質を高めることができた。

●予定していた活動が自然条件により変更になったため、事前に電話で変更の旨を伝え保護者の理解は得られていたが、子どもは活動に対する期待があったため、当日も変更（自然条件等）について丁寧に説明し、自然の中での活動への理解を深められるようにする。

●保護者から活動中の様子を知りたいという声があった。参加案内にフェイスブックの案内を掲載し活動の様子を知ってもらえるようにする。